

○新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 (. . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	建設部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	8 「(仮称) サイン整備ガイドライン」の策定及びサイン整備について		
提案市	安曇野市		
提案要旨	インバウンド時代を踏まえ、外国人にも分かり易い観光サイン整備のため、歩行者以外の車両を対象とした「(仮称) サイン整備ガイドライン」策定とサイン整備を提案する。		
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県は、「長野県観光戦略推進本部」を設置し観光振興策を展開しており、その成果もあって、県が発表した平成 28 年の外国人宿泊者数は、年間 86 万人を超え、過去最高となった。 ・ 一方、多言語による案内標識は乏しく、日本人も含めた優しい観光客のお迎えが課題となっている。 ・ 既存の「長野県公共案内標識整備指針 (平成 7 年制定)」は、主として歩行者を対象としている。 		
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内先進事例として、奈良県と静岡県では観光地への案内標識として国際標準になりつつある、茶系の案内標識を整備すべく、ガイドラインを策定し、その後標識を整備している。(例：静岡県「もてなししずおか“茶”方式」、奈良県「観光案内サイン整備ガイドライン」) ・ 観光はゾーン展開であり、市単独で整備するには負担が大きい。観光立県として県全体で統一したサインを整備し、外国人を含めた優しいおもてなしで観光客をお迎えできるよう、県全体としての「(仮称) サイン整備ガイドライン」の策定及びガイドラインに基づいたサイン整備を提案する。 		
関係法令	道路法 道路交通法 道路標識設置基準		